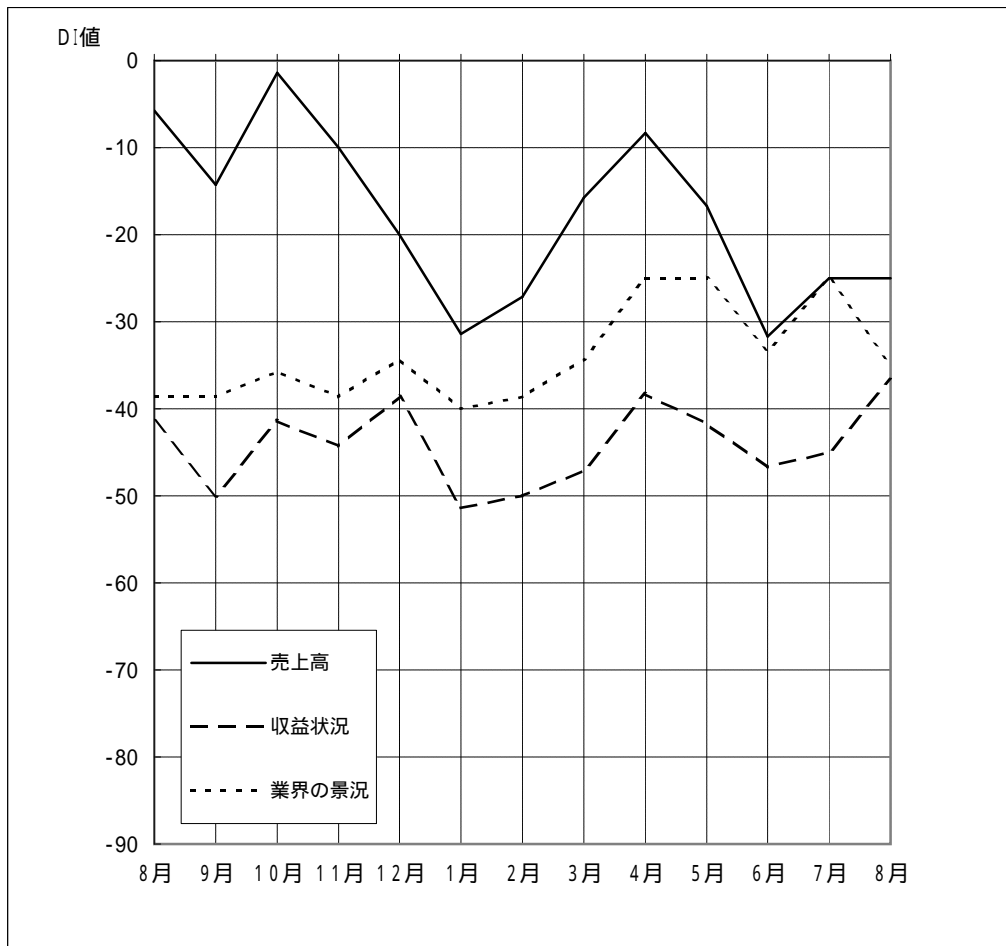


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成15年8月～平成16年8月

単位:ポイント



	h15					h16							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	-5.7	-14.3	-1.4	-10.0	-20.0	-31.4	-27.1	-15.7	-8.3	-16.7	-31.7	-25.0	-25.0
収益状況	-41	-50.0	-41.4	-44.3	-38.6	-51.4	-50.0	-47.1	-38.3	-41.7	-46.7	-45.0	-36.7
業界の景況	-39	-38.6	-35.7	-38.6	-34.3	-40.0	-38.6	-34.3	-25.0	-25.0	-33.3	-25.0	-35.0

8月のDI値をみると、前月より「収益状況」において好転した。「売上高」は前月同様25.0%を継続中。「収益状況」においては、8.3ポイント改善し、マイナス30%台に推移しており緩やかながら改善の動きをみせている。「景況」は前月より10.0ポイント悪化しマイナス30%台に推移した。ここ3ヶ月を通じ中小企業の概況は、低調に推移している。

組合の特記事項からは、全体的に製造業では、原材料価格上昇が収益を圧迫している状態が続いているとの報告が多い。だが、「木材・木製品」、「鉄鋼・金属」の一部で受注好調とする報告もある。全体的に非製造業においては、売上減少、収益悪化等の報告が多い。

また7・13水害によるおける報告が製造業・非製造業問わず多く、被災者に対する組合や行政の見舞金・支援、また復旧に伴う受注の増加、水害地区の購買力低下の懸念等の報告があった。